

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府河内長野市		2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	河内長野市文化遺産活用事業			【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
5 実施計画の概要					
河内長野市には7件の国宝と77件の重要文化財をはじめとする歴史文化遺産があり、これらは、公的施設や寺院だけでなく、地域住民の手で保存・継承されている点が本市の特色となっている。地域の歴史文化遺産の保存・継承を担う人々は、地域に伝わる祭礼によって絆を深め、また、歴史文化遺産を活用した地域活性化の担い手としても期待される存在である。そこで、当該事業により、祭礼が継承されることを支援することをもって、有形・無形の様々な歴史文化遺産の継承・活用の担い手となる人とひとのつながりを強くし、今後の保存・活用に備える。 また、これまで本市が独自に行ってきた調査で蓄積された歴史文化遺産に関する情報を積極的に発信し、また、多言語で発信するすることによって、多文化共生社会の構築をめざし、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を行う。					
6 実施体制					
河内長野市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や補助事業に関する指導等を行う。 主な担当課、役割分担は下記のとおり。 河内長野市教育委員会ふるさと文化財課：文化財の取り扱いに関する指導等 河内長野市産業観光課：観光業務に関する連携 補助事業は次の団体が実施 河内長野市文化遺産活用事業実行委員会 ＜構成団体：文化財所有者（宗教法人 天野山金剛寺、宗教法人 観心寺、宗教法人 延命寺、宗教法人 河合寺）、祭礼用具所有団体（原地区町会・原地車保存会、古野地車保存会）＞					
7 実施計画における目標と期待される効果				別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額		～平成29年度交付決定額： 61,595 千円		平成30年度申請額： 14,662 千円
		(2) 実施事業の概要			
		別紙②のとおり			
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）					
①地域で継承されてきた様々な歴史文化遺産を確実に継承する上で不可欠な人とひとのつながりを堅固なものとすることができる。 ②歴史文化遺産の活用の主体となる地域コミュニティを強固なものとし、地域住民の自立的、継続的な歴史文化遺産を活用した地域振興や観光・産業振興に備えることができる。 ③これまでの調査によって蓄積された歴史文化遺産に関する情報を外部へ適切に発信することができるようになり、交流人口の拡大を達成することができる。					
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）					
事業概要：	文化財特別公開事業「ぐるっとまちじゅう博物館2018」：中世から近世への過渡期に築かれた烏帽子形城跡を中心に、周辺地域に伝わる歴史文化遺産を現地で特別に公開し、地元住民にその重要性を再認識してもらうと共に、市内外からの観光客を誘致し、当該地区の地域活性化の一助とする。				
事業概要：	指定文化財修理事業：文化財の修理を行い、次世代に良好な状態で継承する。併せて、修理現場の公開などの普及啓発事業を実施する。				
事業概要：	地域まちづくり協議会の活動支援：各地域のまちづくり協議会の歴史部会が、文化財の誘導看板を設置したり、文化財マップを積極的に作成していることから、これらの取組みに対して支援を行う。				
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等					
平成27年度に「河内長野市歴史文化基本構想」を策定し、これに基づき「河内長野市文化財保存活用計画」を策定中である。 「歴史的風致維持向上計画」の策定は未定である。					
12 担当部局					
地方公共団体 担当部局課	河内長野市教育委員会 生涯学習部 ふるさと文化財課				

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	ふるさと歴史学習館の年間入館者数			関連事業:	①②	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 7,058 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 9,009 人					
設定根拠 1 :	過去5年間の年間入館者数の最大値と最小値を除いた3年分の増減率1.05倍を参考として、伸び率1.05倍に設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	市民意識調査での地域の歴史的環境への満足度			関連事業:	①②③④	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 31 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 50 %					
設定根拠 2 :	平成22年度調査結果と平成25年度調査結果の伸び率約1.1倍を参考として、伸び率を1.1倍に設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	檜尾山観心寺・天野山金剛寺への年間拝観者数			関連事業:	①②	
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 20万 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 62万 人					
設定根拠 3 :	過去10年間の平均で、年間約3万人の拝観者の増加が認められるため、伸び率を3万に設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	年間外国人観光客数			関連事業:	①	
目標値 4 :	【現状値】 平成 28 年度 6,200 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 9,200 人					
設定根拠 4 :	過去3年間の平均で約600人の増加が認められることから、伸び率600人を設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	河内長野市歴史文化遺産情報誌多言語化による情報発信	実施団体：	河内長野市文化遺産活用事業実行委員会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：	平成 29 年度に刊行予定の河内長野市内の歴史文化遺産を総合的に紹介する冊子（日本語版）を英訳し、外国人に河内長野市の歴史文化遺産の魅力を発信し、インバウンドを意識した交流人口を増やすための一助とする。印刷した冊子を効果的に配布すると同時に、市ホームページなどからダウンロードできるようにし、積極的な活用を図る。				
評価指標区分：	・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	市ホームページに掲載した冊子データのダウンロード数				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 10,000 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
回	回	回	回	回	回
事業②：	金剛寺等歴史文化遺産PR映像作成	実施団体：	河内長野市文化遺産活用事業実行委員会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 24 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：	平成 21 年度～平成 29 年度に実施した金剛寺 金堂・多宝塔・鐘楼の大規模修理が完了したことから、これまで継続的に撮影してきた修理に係る記録映像とその他の歴史文化遺産の映像を交えてを編集し、金剛寺平成大修理の全容と河内長野市内の歴史文化遺産の魅力をPRするDVDを制作する。同時にWEB上でも公開する。				
評価指標区分：	・制作映像の上映会等への貸し出し（又は利用）回数等		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	河内長野市立図書館での貸し出し回数				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
回	回	回	回	回	回
事業③：	原地車保存修理継承	実施団体：	原地車保存会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：	地車の老朽化により、安全な曳行が危ぶまれてきていることから、コマの修理を行う。併せて、経年劣化により破損した地車に飾るのぼり旗・吊下げ旗などの修理を行う。修理後、お披露目会を行い、修理内容を紹介したパネルを自治会館に展示する。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	地車曳行に参加する住民数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 150 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 200 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業④：		古野地車保存修理継承		実施団体：		古野地車保存会	
事業区分：		用具等整備		事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 31 年度	
事業概要：		長年の地車曳行により経年劣化が進行し、安全面での問題が生じてきたことから地車の修理を行う。修理は2か年に分けて実施することとし、平成30年度は、屋根、彫刻、飾り金物、灰汁洗いなどの修理を行う。修理完了後、お披露目会曳行と自治会館で修理報告会とお披露目会を実施する。					
評価指標区分：		・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：		地車曳行に参加する住民数					
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 130 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 160 人					
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		人